



# 水稻営農だより



令和3年第6号 [8月4日発行]

J A つ が る 弘 前  
弘 前 地 区 営 農 係

～落水時期が米の品質に影響します。適期に落水し、高品質米を目指しましょう。～

**重要ポイント** ◆出穂後の高温は、胴割米や白色未熟粒(乳白、腹白など)、充実不足(やせ米)を招く恐れがあります。水不足が続いていますが、日中気温が30℃を超える場合は、積極的に水の入れ替えやかけ流しを行いましょう。



**出穂状況** 8/3 現在

	出穂始	出穂期	穂揃期
薬師堂 (つがるロマン)	7月30日	8月2日	8月5日 (予想)
松木平 (まっしぐら)	7月29日	7月31日	8月3日
平年 (当JA管内ロマン平均)	8月2日	8月5日	8月8日
平年 (当JA管内まっし平均)	8月1日	8月4日	8月6日



## 水管理

登熟期	高温の場合	2～3 cm程度の浅水。
	低温の場合(最低気温が15℃以下)	10 cm程度の深水。
	中干しが不十分だった水田や湿田	掛け流しや、土壌に軽く亀裂が入る程度の間断かんがい
落水時期	湿田・湧水田	8月20日～8月25日頃から(出穂後20～25日)
	乾田・普通田	8月31日～9月5日頃から(出穂後30～35日)

落水時期・・・適期落水で食味・品質の向上を図りましょう。

◆早すぎる ⇒ 玄米の肥大が抑えられ屑米・胴割粒が増加します。

◆遅すぎる ⇒ 食味・品質が低下します。適期落水で食味・品質の向上を図りましょう。

## 病害虫防除

防除時期		対象病害虫	一般
穂揃期	8/3～5頃	いもち病、カメムシ	ビームスタークル DL 粉剤
穂揃期 10日後頃	8/13～15頃	カメムシ	スタークル DL 粉剤

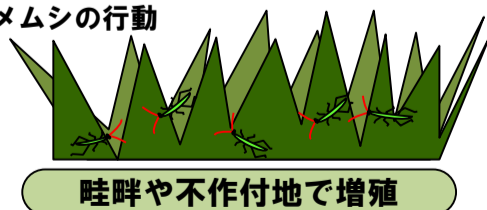
※ 航空防除を申込されている方へ

穂揃期 10日後頃の薬剤散布(カメムシ防除)は8月12日～13日を予定しております。

## カメムシ対策

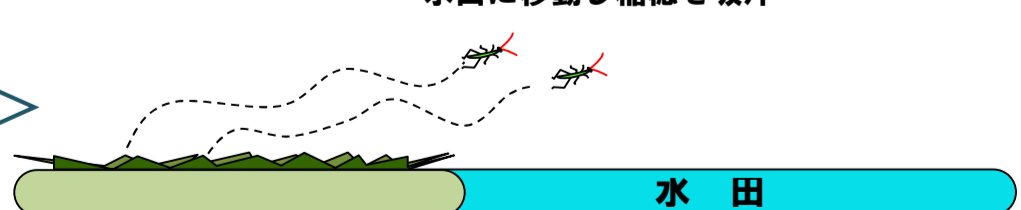
8月末までの、畦畔ならびに周囲の草刈りは、かえってカメムシを田んぼに追い込み、被害に結び付く恐れがありますので行わないでください。

カメムシの行動



草を刈ると・・・

水田に移動し稲穂を吸汁



出穂4週間後(9月上旬)の時期になると籾はある程度固くなり、カメムシが加害しにくくなります。

等級	1等	2等	3等	規格外
千粒の着色粒混入限界	1粒まで	3粒まで	7粒まで	8粒以上

1,000粒にわずか2粒の混入で2等米に格下げ!!